

編集・発行：北海道中国帰国者支援・交流センター
〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目1番地
北海道社会福祉総合センター

(かでの 2・7) 3階

TEL : 011-252-3411 / FAX : 011-252-3412

URL : <http://www.hokkaido-sien-center.jp/>

E-mail : Hokkaidocenter@dosityakyo.or.jp



樺太等帰国者交流パーティ

11月7日、毎年恒例となっている「樺太等帰国者交流パーティ」がサ
ハリン同胞交流協会の協力により開かれました。

今年は支援者を含め67名が参加しました。遠くは稚内市や旭川市
からも参加があり、久しぶりに会う方々は、近況を話し合うなど交流を深
めました。

短い時間でしたが、カラオケやゲーム、ダンスなどを楽しみ、最後は
全員で「ふるさと」「モスクワ郊外の夕べ」を合唱し、来年の再会を約束
していました。



中国・樺太等帰国者支援ボランティア研修会 - 適応のための日本語学習とは -

11月21日、旭川ターミナルホテルでボランティア研修会を開催し、旭川市、ボランティア団体、支援者、
一般市民、中国・樺太帰国者など26人の参加がありました。



厚労省孤児等対策室羽賀隆之生活支援班長から、「中国帰国者の現状と施策
援護の報告」について行政説明があり、次に基調講演として中国帰国者定着
促進センターの小林悦夫所長から、「これからの中国帰国者支援を考える」をテ
ーマにお話しがありました。意見交換会では、旭川市在住の帰国者の方々から、
帰国後の苦労話や現在の生活状況についての話しがあり、参加者に理解を深
めてもらうことができました。

日本の家庭料理教室 — お正月料理 —

12月20日、第3回料理教室は「おせち料理」をテーマに開催しました。
参加した皆さんは、慣れない細かい作業や飾り付けに苦戦しながらも、
「栗きんとん」、「煮しめ」、「鮭の昆布巻き」、「七福なます」、「お雑煮」の
五品目を上手に作りました。

先生から「おせち料理」の由来と名前の説明を聞き、更に日本の食文
化に興味を持ったようです。できた料理をみんなで美味しく頂きました！



中国残留邦人等「生活ニーズ調査」の結果報告

センターでは、昨年9月から10月にかけて、中国残留邦人等197人(中国123人、樺太等74人)を対象に、生活不安などの解消を図るための対策を検討するため、家庭訪問による「生活ニーズ調査」を行い、155人から意見をお聞きしました。

回答の主なものは、「新たな支援策により、生活が良くなった」と回答した人が、中国帰国者74%、樺太等帰国者75%。また、「帰国後の生活に満足している」と回答した人は、中国帰国者81%、樺太等帰国者93%でした。センターへの要望としては、次の様なものがありました。

- 中国帰国者 ①地方在住者が参加しやすい行事を実施してほしい
 ②健康のための運動を取り入れた事業を行ってほしい
- 樺太等帰国者 ①地方でも日本語教室や交流会を開催してほしい
 ②交流事業を多くしてほしい

今回のニーズ調査については、報告書にまとめ、公表する予定です。

社会見学会を開催



日本語基礎コースの受講生を対象に、札幌市民防災センターを見学しました。皆さんは消火体験・地震体験・煙避難体験などを通して、防火・防災の知識と災害発生時の正しい行動について学ぶことができ、更に防火・防災意識を高めました。

健康運動教室

冬道の「転倒防止」をテーマに、10月27日と12月8日の2回にわたって、健康運動教室を開きました。

中央健康づくりセンターの運動指導員から、冬道「転倒防止」のための歩き方や膝痛、腰痛予防筋力トレーニングを指導してもらいました。参加者は音楽に合わせて楽しく運動しました。



日本語教室伝言板

* 1月30日(日)は「第1回中国帰国者新年交流会」を開催するため、「(ロシア)働く人のための日本語クラス」以外はお休みです。

* 「学習発表会」の日程が決まりました。各クラスの皆さん、今から準備をお願いします。

1月～3月の予定

1月18日(火)	日本語&パソコン教室 開講
1月30日(日)	第1回 中国帰国者新年交流会
2月9日(水)	第3回健康運動教室
3月4日(金)	(中国)医療①クラスの特別講座 (楽しく介護!プロの技について)
3月19日(土)	学習発表会

編集後記

新年明けましておめでとうございます!!
 皆さんのお正月はいかがお過ごしでしたか?
 ちなみに、私は「おせち料理」に初挑戦しました。盛り付けは上手く出来なかったのですが、美味しかったですよ!
 来年のお正月が待ち遠しいです!

(矢能)





しらかば

へんしゅう はっこう ほっかいどうちゅうごく きこくしゃ しえん こうりゅうせん たー
編集・発行：北海道中国帰国者支援・交流センター
〒060-0002

さっぽろ しちゅうおう くきた じょうにし ちようめ ぼんち
札幌市中央区北2条西7丁目1番地
ほっかいどうしゃかいふくし そうごうせん たー
北海道社会福祉総合センター

(かでの 2・7) 3階

TEL: 011-252-3411 / FAX: 011-252-3412

URL: <http://www.hokkaido-sien-center.jp/>

E-mail: Hokkaidocenter@dosyakyu.or.jp

この度の東北地方太平洋沖地震では、多くの方々の尊い命が失われましたことに深い
哀悼の意を表すとともに、被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

センターが開設されて5年目になります！！今年も多くの帰国者の皆さんに利用して
いただける様な事業を行いますので、宜しく願いいたします。

平成23年度事業計画

日本語学習支援

生活相談

地域支援

交流

普及啓発

情報提供

地域生活支援推進

就職支援

- 日本語教室・パソコン教室
- 遠隔学習課程のスクーリングの実施
- 生活や就労に関する相談
- 通訳（医療通訳を含む）
- 家庭訪問の実施
- 出前日本語教室の開催
- ボランティア研修会の開催
- 料理教室、健康運動教室、バスツアー
- 帰国者交流会の開催
- 交流サロンの運営
- パネルの貸出
- ホームページの運営
- 季刊紙「しらかば」の発行
- 介護老人保健・福祉施設の見学
- 帰国者の「拠点づくり」
- 職業相談・就職支援



とく べつ じゅ ぎょう 特別授業



1月11日、中国帰国者1世の受講生を対象に、「日本のお正月」をテーマに授業を行いました。

まゆ玉飾り・かるた・福笑いなど、昔、子ども達がお正月に遊んでいた日本の伝統行事を体験しました。

けん玉やコマ遊びなどを初めて経験した人も多く、たいへん楽しかったと好評でした。

だい かい がく しゅう はっ びょう かい 第2回 学習発表会

ほっかいどうしゃかいふくし そうごう だいかい きしつ かいさい
3月19日、北海道社会福祉総合センターの大会議室にて開催しました。



さくひんてんじ えてがみ
作品展示(絵手紙クラス)



さくひんてんじ
作品展示
いっせいの
(1世楽しいパソコンクラス)



がっしょう うた
合唱(みんなで歌おう!)



げき はる
劇「もうすぐ春です」
ちゅうごくしょきゅう
(中国初級Ⅱクラス)



ちゅうごくご ことばあそ
中国語の言葉遊び
ちゅうごくご
(子どもの中国語クラス)



たいきょくけん
太極拳



さくぶん よ
「作文を読む」
ちゅうごくしょきゅう
(中国初級Ⅰクラス)



ろうどく うらしまた ろう
朗読「浦島太郎」
ちゅうごくちゅうきゅう
(中国中級Ⅱクラス)



かみしばい か
紙芝居「てぶくろを買いに」
ちゅうきゅう
(ロシア中級Ⅰクラス)

2011年 中国帰国者新年交流会

1月30日、センター主催で「第1回新年交流会」を開催しました。



中国帰国者や支援ボランティア

ティア、地域住民など約200人が参加しました。

皆さん、歌って、踊って、笑って、賑やかに春節を祝い、また来年の再会を約束していました。



介護老人施設の見学会 2011年3月8日

『中国帰国者等生活ニーズ調査』の結果、中国・樺太等帰国者の約3割が介護保険制度を理解していない、又要支援・介護の認定を受けている帰国者は約1割いることがわかりました。

介護保険制度や介護サービスの内容、介護老人施設を理解してもらうため、施設見学会を実施しました。

今回は『〈介護保険制度〉を知らない』と答えた中国・

樺太帰国者からそれぞれ夫婦2組が参加しました。

「介護老人福祉施設」と「介護老人保健施設」を見学しましたが、見学後のアンケートでは、「想像していたのと違い、良く理解できた」「参加して良かった」「他の帰国者にも是非見学させてほしい」など、すべての参加者から良い評価がありました。



出前日本語教室を開講 2011年2月～

旭川市の帰国者から要望されていた「日本語教室」を2月から開講しました。1回目は、中国・樺太帰国者12名が受講し、大変よろこばれました。旭川市に移行するまでは、センターから講師を1名派遣し、月2回開講することにしています。



医療特別講座

中国帰国者医療コースの受講生を対象に、「札幌

市在宅福祉サービス協会」の協力により、3月4日に「車いすの使い方」、3月11日に「介護保険制度の説明」の特別講座を開きました。

「車いすの使い方」では、初めて車いすに触れた生徒が多く、正しい乗り方や押し方について、全員が試乗体験をしました。

「介護保険制度の説明」では、帰国者にとって聞き慣れない専門用語などを分かりやすく説明してもらい、皆さんは真剣にメモを取っていました。



健康増進運動 — 健康運動教室&ボーリング大会

2月9日、中央健康づくりセンターの健康指導員を招いて、「第3回健康運動教室」を開催しました。皆さん音楽に合わせて、1時間楽しく健康体操をしました。

また、2月28日には帰国者1世の通所生を対象に、ボーリング大会を開催しました。参加者は互いに上手く投げるコツを競い合いながら、2ゲームを楽しみました。

日本語教室伝言板

遠隔課程受講の皆様へ

日々の日本語学習の中で、何か困っていることがあれば、ご相談下さい。

また、ご希望に応じて、対面式の日本語指導（スクーリング）もあります。



4月～6月の予定

4月 8日(金)	日本語&パソコン教室 4月期開講
4月 14日(木)	旭川市出前日本語教室
4月 15日(金)	第1回健康運動教室
4月 28日(木)	旭川市出前日本語教室
4月 29日～ 5月 5日	日本語&パソコン教室 休み
5月 18日(水)	第2回健康運動教室
5月 22日(日)	DVD上映会<中国映画> (予定)
6月 14日(火)	第3回健康運動教室
6月 6日(月)	第1回日本料理教室

編集後記

春爛漫、一年中でいちばん美しく楽しい季節がやってきました！！

日ごとに暖かさが増し、外出が楽しくなりますね！！

センターでは、今年も様々な行事を計画していますので、皆さんの参加をお待ちしております。

編集・発行：北海道中国帰国者支援・交流センター
〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目1番地
北海道社会福祉総合センター

(かでの 2・7) 3階

TEL : 011-252-3411 / FAX : 011-252-3412

URL : <http://www.hokkaido-sien-center.jp/>

E-mail : Hokkaidocenter@dosityakyo.or.jp



しらかば

日本語授業課外学習

帰国者1世クラスを中心に、日本の文化・習慣・社会知識・生活知識を習得するための課外授業を行っています。

今回は、日本語初級Ⅰクラス(中国・ロシア)が「北大植物園」

中国初級Ⅱクラスは大通公園「花フェスタ」に行ってきました。

多くの参加者から「新しく木や花を知ることができ、大変勉強になった」などの感想がありました。



ロシア初級Ⅰクラス



「北大植物園」にて



中国初級Ⅱクラス



中国初級Ⅰクラス

健康運動教室



今年度から毎月1回、健康増進のための「健康運動教室」を開催しています。

4月から6月は、中央健康づくりセンターの運動指導員から、「転倒防止・膝痛予防・筋力維持」をテーマに、椅子やボールを使ったストレッチや体操を学びました。

音楽のリズムに合わせて体を動かす体操に、1時間があっという間に過ぎてしまいました。

異文化共生体験交流会

5月20日、札幌国際プラザの協力により開催しました。

今回は、中国帰国者日本語初級Ⅱクラスの生徒11名と中国語を勉強している地域住民13名が参加し、中国語と日本語で30分間ずつ話しました。

参加者からは「勉強して覚えた言葉が相手に通じることがとてもうれしい、また参加したい」と大変好評でした。



にほん かていりょうりきょうしつ
日本の家庭料理教室 —お弁当編—

6月6日、1回目の料理教室を開催しました。
 今回は、「日本のお弁当」をテーマに、「エビ天巻き寿司」、
 「ささみロール」、「人参の紅葉あえ」、「ふきのきんぴら」の
 4品を学びました。

参加者の多くは初めて「巻き寿司」に挑戦しましたが、先生から
 巻く時のコツなどを教えてもらい、上手に作ることができました。
 出来上がった料理を皆さんで美味しく頂き、「今度は子どもや孫たち
 にも作ってあげたい」と大変喜ばれました。



にほん ごきょうしつでんごんぼん
日本語教室伝言板

後期（10月～）の日本語 & パソコン課程の募集要項を8月下旬に発送し
 ますので、受講を希望される方は早めにお申し込みください。



ちゅうごくきこくしゃとうせいかつ ちようさ ほうこくしよ
「中国帰国者等生活ニーズ調査」報告書

2011年冬号（第11号）で調査結果のうち、セン
 ターへの要望内容についてお知らせしましたが、4月
 に生活ニーズ調査の「結果報告」と「結果の主な概要」
 として報告書にまとめ、公表しました。主な内容は別紙の
 とおりですので、お知らせします。

	帰国者数	調査対象 (%)
中国帰国者	123 人	99 人 (80)
樺太帰国者	74 人	56 人 (76)
合計	197 人	155 人 (79)

7月～9月の予定

7月1日（金）	第4回健康運動教室
7月1日（金）	医療特別講座（中国医療クラス）
7月8日（木）	医療特別講座（ロシア医療クラス）
7月25日（月）	さくらんぼ狩りバスツアー メ切りました!
8月11日～17日	日本語&パソコン教室 夏休み
8月12日（金）	第5回健康運動教室
8月21日（日）	第11回さっぽろ秧歌まつり
9月4日（日）	第3回DVD上映会（中国映画）
9月5日（月）	第2回料理教室（和菓子編）
9月16日（金）	第6回健康運動教室
9月23日～30日	日本語&パソコン教室 秋休み

編集後記

やっと夏が来ました！
 夏と言えば海、スイカ、
 花火、お祭り、夏休み…
 という方も多いのではない
 でしょうか？
 夏は体調を崩しやすい
 季節ですので、長時間
 直射日光に当たらない、
 こまめに水分（塩分）を
 補給するなど暑さ対策を
 して、北海道の
 短い「夏」を楽し
 みましょう！！



へんしゅう ほっこう ほっかいどうちゅうごくきこくしゃしえん こうりゅうせんたー
編集・発行：北海道中国帰国者支援・交流センター
〒060-0002

さっぽろしちゅうおうきくたじょうにしちようめぼんち
札幌市中央区北2条西7丁目1番地
ほっかいどうしゃがいふくしそごうせんたー
北海道社会福祉総合センター

(かでの 2・7) 3階

TEL : 011-252-3411 / FAX : 011-252-3412

URL : <http://www.hokkaido-sien-center.jp/>

E-mail : Hokkaidocenter@dosityakyo.or.jp



さくらんぼ狩りバスツアー

7月25日、大型バス3台（総勢137名）で、芦別市の観光農園「大橋さくらんぼ園」に行ってきました。

30種類以上のさくらんぼの木が1,500本も植えられている大きな

農園で、「黄色いさくらんぼ」など珍しい品種も多く、食べ比べを楽しみました。

昼食は「市民動物園」として知られている「芦別旭ヶ丘公園」でとり、公園内の散策やたくさんの動物と触れ合いました。



医療特別講座

札幌市在宅福祉サービス協会の協力により、7月1日に中国帰国者医療クラスでは「車いす介助」、7月7日に樺太帰国者医療クラスでは「立ち上がり、寝返り介助」についての特別授業を行いました。



車いすの正しい乗り方や押し方の試乗体験や無駄な力を入れずに介助できる方法など、実技を通して学ぶことができ、大変好評でした。

さっぽろ秧歌まつり

8月21日、第11回さっぽろ秧歌まつりが大通公園6丁目広場で開催されました。

今年は、中国帰国者の歌や踊り、楽器演奏、太極扇のほか、アイヌ民族楽器演奏家による演奏や札幌在住のタイの方による舞踊、楽器演奏などもあり、約250人の観客を楽しませました。



特に今年の秧歌まつりは、東北で被災された方々を元気づけたいという中国帰国者の強い思いから、東北から札幌に移住してきた被災者の自立と支援を目的とした「みちのく会」の皆さんを招待し、多くの方々が参加してくれました。

日本の家庭料理教室

—和菓子編—

9月5日、第2回料理教室を北ガスッキングスクールにて開催しました。

今回は、「和菓子」をテーマに、「栗むしようかん」と「くるみもち」に挑戦しました。



初めての和菓子づくりに、先生の細かな説明を真剣に聞きながら取り組んでいました。

皆さんで初めて上手にできた「和菓子」に大満足し、美味しく頂きました。



日本語教室伝言板



後期の授業は10月1日から始まりました。

受講を希望される方は、いつでもご相談ください。なお、できるだけ休まずに受講できる方が対象です。

担当：松本

帰国者1世への家庭訪問

4月から、札幌近郊以外の帰国者一世宅を、相談員が訪問しています。昨年実施した「中国帰国者等生活ニーズ調査」の際、札幌近郊以外に居住する帰国者からの、家庭訪問を希望する声が多かったためです。

帰国した当時、国からの援助はほとんどなく、札幌とは違って周りに同じ境遇の人も少なく、大変な苦勞をされましたが、今ではほとんどの方が日本語に不自由なく、地域にもすっかり溶け込んでいます。しかし、世帯数が少ないために支援策制度の理解の面で問題も生じており、家庭訪問時に市町村との連絡を図り、解決に努めています。支援給付対象者の発見や、センター事業に参加する際の交通費の支給など、解決した事例もありました。

高齢化や、遠いなどの理由で、センターを利用出来ない札幌近郊以外の帰国者一世に、このような形での支援を継続していくことにしています。

10月～12月の予定

10月6日(木)	医療クラス特別講座
10月9日(日)	樺太等帰国者交流パーティ
10月18日(火)	第7回健康運動教室
11月1日(火)	第1回特別講座「中国将棋」
11月9日(水)	第8回健康運動教室
11月27日(日)	第4回DVD上映会
12月5日(月)	第3回日本家庭料理教室
12月9日(金)	第9回健康運動教室
12月予定	一世限定バスツアー
12月25日(日) ～1月10日(火)	日本語&パソコン教室 冬休み

編集後記

センターが開所して満四年になりました。多くの帰国者に利用して頂いていますが、さらに利用しやすいように努力していきたいと考えています。

これからは、外勤や出張が多くなり、せっかく相談などで来所されても担当者が不在な場合があります。

来所する際、事前に電話などで確認されるようお勧めします。





へんしゅう ほんこう ほっかいどうちゅうごく きこくしゃ しえん こうりゅうせんたー
編集・発行：北海道中国帰国者支援・交流センター
〒060-0002

さっぽろ しちゅうおうくきた 2条西7丁目1番地
ほっかいどうしゃかいふくし そうごうせんたー
北海道社会福祉総合センター

(かでの 2・7) 3階

TEL : 011-252-3411 / FAX : 011-252-3412

URL : <http://www.hokkaido-sien-center.jp/>

E-mail : Hokkaidocenter@dosityakyo.or.jp

2011年 樺太等帰国者交流パーティ

10月9日、樺太帰国者の皆さんの親睦を目的に行われている交流パーティをサハリン同胞交流協会の協力により開催しました。



今年は、支援者を含めて71名の参加があり、特に稚内市や旭川市の他、被災地から札幌市に避難してきた帰国者の参加もありました。



カラオケやダンス、ゲームなどを楽しみ、最後に全員で「故郷」、「モスクワ郊外の夕べ」を合唱し、来年の再会を約束していました。

中国・樺太等帰国者支援ボランティア研修会 — 帰国者の子どもたちの進路保障について —

12月11日、北海道立道民活動センターで開催し、ボランティア団体、支援者、一般市民、現役教師など34名が参加しました。



基調講演として大阪成蹊大学マネジメント学部準教授鍛冶致先生から、「帰国者の子どもたちの進路保障について」と題したお話を聞きました。意見交換では、子どもたちへ日本語学習の支援を行っているボランティア団体から、それぞれ支援内容の報告や活発な発言が交わされました。また、高校教師の帰国者3世からは、自身の経験や学校の支援活動の紹介がありました。参加者の中には終了後も残って意見交換するなど、有意義な研修会でした。

登別温泉交流バスツアー



登別温泉「石水亭」

12月18日～19日、帰国者一世及び支援者74名で、登別温泉「石水亭」に行ってきました。

皆さん、温泉旅行を大変楽しみにしていて、函館市や旭川市からも参加がありました。夕食後の交流会では、

ビンゴゲームなどを楽しみました。久しぶりに会う方々は、話しが尽きないようでした。「硫黄泉」として有名な温泉で1年の疲れを洗い流し、温泉交流を満喫した2日間でした。

にほん かていりょうり きょうしつ

日本の家庭料理教室

せちりょうりへん
—お節料理編—

12月5日、第3回料理教室を北ガスッキングスクール
で開催しました。

今回のテーマはお節料理、32名の方が参加しました。



「筑前煮」、「だてまき卵」、「ぶりの
照り焼き」、「紅白なます」、「お雑煮」
の5品を学びました。



先生からお節料理に込められた意味を教わり、自分たちで作った
料理を美味しく頂きました。日本のお正月文化にふれた1日でした。

駒岡資源選別センターの社会見学

10月に4回に分けて、日本語基礎コース10クラスの受講生131名を対象にした社会
見学を行いました。

資源選別センター従業員の説明や手選別作業などの見学を通し、改めてごみの分別方法や
ごみの減量、リサイクルの必要性について学びました。

日本語教室伝言板



★ 2月5日(日)「第2回中国帰国者新年交流会」を開催するため、日本語と
パソコン教室は お休みです。

★「学習発表会」の日程が3月10日(土)に決まりました。各クラスの
皆さん、今から準備をお願いします。

1月～3月の予定

1月11日(水)	日本語&パソコン教室 開講
1月22日(日)	第5回 DVD上映会 (中国映画)
1月25日(水)	第10回 健康運動教室
2月 5日(日)	第2回 中国帰国者新年交流会
2月22日(水)	第11回 健康運動教室
2月26日(日)	第6回 DVD上映会 (予定)
3月 5日(金)	第2回 特別講座 (予定)
3月10日(土)	学習発表会
3月13日(火)	第12回 健康運動教室
3月19日～	日本語&パソコン教室 春休み

地域生活支援推進事業

介護保険制度理解のための

—施設見学—

老後の不安を解消するために、帰国者
一世を対象とした、「特別養護老人ホー
ム」「介護老人保健施設」の見学を12月
に3回行い、30人が参加しました。

参加者からは清潔な部屋や設備、行き
届いたサービスを
見て、「もう老後の
心配はないね」と
言う感想も聞かれ
ました。



編集後記

新年 明けまして おめでとうございます！今年も皆さんが元気で通所するよう、お待ちしております！！

へんしゅう はっこう ほっかいどうちゅうごく きこくしゃ しえん こうりゅうせんたー
編集・発行：北海道中国帰国者支援・交流センター
〒060-0002

さっぽろ しちゅうおうくきた じょうにし ちようめ ばんち
札幌市中央区北2条西7丁目1番地
ほっかいどうしゃがいふくしそごうせんたー
北海道社会福祉総合センター

(かでの 2・7) 3階

TEL: 011-252-3411 / FAX: 011-252-3412

URL: <http://www.hokkaido-sien-center.jp/>

E-mail: Hokkaidocenter@dosityakyo.or.jp



しんねん ど はじ ことし おお きこくしゃ みな りよう
新年度が始まりました！今年も多くの帰国者の皆さんに利用していただける様な
じぎょう おこな よろ ねが
事業を行いますので、宜しくお願いたします。

へいせい 24 ねん ど じぎょう けい かく 平成24年度事業計画

にほんごがくしゅうしえん 日本語学習支援	<ul style="list-style-type: none"> にほんごきょうしつ きょうしつ 日本語教室・パソコン教室 えんかくがくしゅうかてい 遠隔学習課程のスクーリングの実施
せい かつ そう だん 生活相談	<ul style="list-style-type: none"> せいかつ しゅうろう かん そうだん かていほうもん じっし 生活や就労に関する相談、家庭訪問の実施 つうやく いりょうつうやく ぶく 通訳（医療通訳を含む） いりょうそうだんかい かいさい 医療相談会の開催
ち いき し えん 地域支援	<ul style="list-style-type: none"> にほんごきょうしつうんえい しえん 日本語教室運営の支援 けんしゅうかい かいさい ボランティア研修会の開催
こう りゅう 交流	<ul style="list-style-type: none"> りょうり きょうしつ けんこううんどうきょうしつ 料理教室、健康運動教室、バスツアー きこくしゃこうりゅうかい かいさい 帰国者交流会の開催 こうりゅう うんえい 交流サロンの運営
ふ きゅう けい はつ 普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> かしたし パネルの貸出
じょう ほう てい きょう 情報提供	<ul style="list-style-type: none"> うんえい ホームページの運営 きかんし はっこう 季刊紙「しらかば」の発行
ちいきせいかつしえんすいしん 地域生活支援推進	<ul style="list-style-type: none"> かいこうろうじんほけん ぶくし しせつ けんがく 介護老人保健・福祉施設の見学 きこくしゃ きよてん 帰国者の「拠点づくり」
しゅう しょく えん じょ 就職援助	<ul style="list-style-type: none"> しよくきょうそうだん しゅうしょくしえん 職業相談・就職支援

だい かい がく しゅう はっ びょう かい 第3回 学 習 発 表 会

ほっ かい どう しゃ かい ぶく し そごう だいい かい き しつ かい さい
3月10日、北海道社会福祉総合センターの大会議室で開催しました。



ちゅうごく き こくしゃ しんねん こうりゅうかい

2012年 中国帰国者新年交流会

2月5日、センター主催の「第2回新年交流会」を開催しました。中国帰国者や支援者、ボランティア



など約180名が参加しました。

今年の干支「辰」に

因んで、華やかな「龍舞」で新年会の幕を開け、歌や踊り、楽器演奏の発表などで楽しみました。最後に全員で恒例の大秧歌踊りで、賑やかに春節を祝いました。



特別講座

♪ロシア語の歌を覚えよう♪

3月7日、樺太帰国者の奈良幾子さんを講師に迎え、ボランティアや支援者を対象に、特別講座「ロシア語の歌を覚えよう」を開きました。

今回は日本でも馴染みのある歌「モスクワ郊外の夕べ」を選曲し、先生に難しいロシア語の発音を教えてもらいながら、参加者全員で楽しく上手に歌いました。



医療特別講座



札幌市在宅福祉サービス協会の協力により、3月2日に中国帰国者医療クラスでは「介護保険制度の知識」、3月8日に樺太帰国者医療クラスでは「歩行介助・車いす介助のコツ」としたテーマの特別講座を行いました。

介護支援専門員から「介護保険制度」の仕組みについて、分かりやすく説明してもらおうとともに、参加者が車いすの試乗を通して、「介助のコツ」を感じ取ることができ、有意義な講座でした。

3月31日付けで國井所長と坪谷企画主任が退職し、後任に北海道社会福祉協議会藤田事務局 長が就任しました。

職員の退任・新任



前所長 國井 良幸

楽しく仕事をさせてもらい、ありがとうございました！
再見！*До свидания!*



企画主任 坪谷 匡代

センターでみなさんとお出えたことは本当に「宝物」です！お世話になり、どうもありがとうございました！！



新所長 藤田 裕行

中国帰国者支援・交流センター所長に任命されました。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

平成24年度職員体制

所長
企画主任
教務主任
事務員
生活相談員 [総合] [中国]
生活相談員 [ロシア]
医療通訳 (中国生活相談員兼務)
地域支援コーディネーター (企画主任兼務)

日本語教室伝言板

遠隔課程受講の皆様へ
日々の日本語学習の中で、何か困っていることがあれば、いつでもご相談下さい。
また、希望に応じて、対面式の日本語指導（スクーリング）もあります。
担当：松本

4月～6月の予定

4月 7日(土)	日本語&パソコン教室4月期開講
4月 20日(金)	第1回健康運動教室
4月 29日(日)～ 5月 5日(土)	日本語&パソコン教室 休み
5月 20日(日)	DVD上映会<中国映画> (予定)
5月 22日(火)	第2回健康運動教室
6月 4日(月)	第1回日本料理教室
6月 19日(火)	第3回健康運動教室

編集後記

雪解けが進み、やっと春の柔らかな日差し、暖かな風を感じられ、気持ちがあわわくわくしますね！
季節の変わり目は風邪を引きやすいので、体調管理に注意し、桜が満開の日を楽しみに、春を楽しむ準備をしましょう！！

へんしゅう はっこう ほっかいどうちゅうごく きこくしゃ しえん こうりゅうせんたー
編集・発行：北海道中国帰国者支援・交流センター
〒060-0002

さっぽろ しちゅうおう くきた じょうにし ちょうめ ばんち
札幌市中央区北2条西7丁目1番地
ほっかいどうしゃがいふくしそごうせんたー
北海道社会福祉総合センター

(かでの 2・7) 3階^{がい}

TEL : 011-252-3411 / FAX : 011-252-3412

URL : <http://www.hokkaido-sien-center.jp/>

E-mail : Hokkaidocenter@dosityakyo.or.jp



一クラス紹介^{しょうかい}

ちゅうごく きこくしゃ にほんご しょきゅういち 中国帰国者日本語初級 I

ちゅうごく きこくしゃ せいおよ はいぐらしゃ たいしょう かんたん もじ よ
中国帰国者1世及び配偶者を対象に、簡単な文字の読み
か みちが もの なまえ がくしゅう ざいせき
書きや身近な物の名前を学習するクラスです。在籍してい
る受講生は19名、平均年齢70.5歳、平均出席率85.1%、
じょうこうせい めい はいきんねんれい さい はいきんしゅつせきりつ
長期療養による欠席者を除く場合は94.5%、日本語クラス
ちようきりょうよう けっせきしゃ のぞ ばあい にほんご
の中では断トツ1位！！

ほとんどの受講生は授業が始まる1時間前に登校し、予習したり、
お互いの健康状態を確認したり、共通の趣味である「家庭菜園」の話をしてしています。授業が始
まると真剣に先生の説明を聞き、メモを取り、積極的に質問をしています。受講生は「なかなか
おぼ 覚えられないが、勉強は楽しい、日本語が上手になりたい」と話していました。
みな げんき かよ つづ
皆さんずっと元気で通い続けてほしいものです。



にほんご かいわ ねんしゅう ～～日本語会話練習～～

センターでは、今年度から日本語教室の受講生を対象に、
ボランティアの方と日本語の会話練習を行っています。

6月26日、第2回目的日本語会話練習では、受講生8名と
ボランティアさん7名が参加し、「知り会おう」というテーマ
で会話をしました。

参加者からは「1時間あっという間に過ぎた、ぜひまた参加
したい」との声がありました。



ていちゃくしゃ む せい かつ がくしゅう こうじょうけん かく 定着者向け生活学習クラスの工場見学

6月21日、今年1月札幌市に定着した樺太帰国者5名で
「サツラク ミルクの郷」に行ってきました。

ぼくじょう ふんいき そのままの ぎゅうしゃ ぎゅうにゅう
牧場の雰囲気そのままの牛舎や牛乳、バター、ヨーグルト
にゅうせいひん せいぞうかてい けんがく あと ぎゅうにゅう しいん
など乳製品の製造過程を見学した後、できたての牛乳を試飲
しました。「やっぱり酪農家が大事に育てている牛から搾った
ぎゅうにゅう おい い
牛乳は美味しいね」と言っていました。



にほん かていりょうりきょうしつ べんとうへん
日本の家庭料理教室 —お弁当編—

6月4日、1回目の料理教室を北ガスッキングスクールで
 開催しました。

今回は、「日本のお弁当」をテーマに、「牛肉のしぐれ煮巻き」、
 「高野豆腐とたけのこの炊き合わせ」、「アスパラの土佐和え」、
 「鮭の木の芽のみそ焼き」、「れんこんのはさみ揚げ」の5品を学びました。
 「牛肉のしぐれ煮巻き」がうまく巻けない方が多く、先生に手伝って
 もらいながら、上手に巻くことができました。美味しそうな料理がいっ
 ぱい詰まったお弁当をみんなで美味しく頂き、「ヘルシーで美味しい、
 家でも作ってみたい」と大満足でした。



にほん ごきょうしつでんごんぼん
日本語教室伝言板

後期（10月～）の日本語とパソコン教室の「通学課程募集要項」を8月下旬に発送
 しますので、受講を希望される方は早めにお申し込みください！



あたらしざいりゅうかんりせいど
新しい在留管理制度について

今年の7月から、新しい在留管理制度が施行されます。
 主な変更箇所は右のリーフレットの「ポイント1～ポイント
 4」になります。

法務省入国管理局のホームページでは、中国語やロシア
 語による説明も掲載していますので、ご確認ください。

2012年7月9日(月)から
新しい在留管理制度がスタート!

新しい在留管理制度はどういう制度なの？

- ポイント 1 「在留カード」が交付されます
- ポイント 2 在留期間が最長5年になります
- ポイント 3 再入国許可の制度が変わります
- ポイント 4 外国人登録制度が廃止されます

法務省入国管理局 <http://www.immi.mof.go.jp/immr.html>

よてい
7月～9月の予定

7月20日（金）	だい かいけんこううんどうきょうしつ 第4回健康運動教室
7月23日（月）	さくらんぼがりバスツアー
7月29日（日）	だい かい しょうえいかい ちゅうごくえい が 第2回DVD上映会（中国映画）
7月31日（火）	にほんごかいわれんしゅう 日本語会話練習
8月12日～20日	にほんご きょうしつ なつやすみ 日本語&パソコン教室 夏休み
8月17日（金）	だい かいけんこううんどうきょうしつ 第5回健康運動教室
8月20日（月）	だい かいりょうりきょうしつ 第2回料理教室
9月2日（日）	だい かい さんげん やんがー 第12回さっぽろ秧歌まつり
9月18日（火）	だい かいけんこううんどうきょうしつ 第6回健康運動教室
9月23日（日）	だい かい しょうえいかい にほんえい が 第3回DVD上映会（日本映画）
9月24日～10月6日	にほんご きょうしつ あきやすみ 日本語&パソコン教室 秋休み

へん しゅう こう き
編集後記

暑い日が続いていますが、
 皆さんの体調はいかがですか？

センターでは、バスツアー
 などの交流事業を計画して
 いますので、是非お誘い合
 わせのうえ、ご参加くださ
 い！！

編集・発行：北海道中国帰国者支援・交流センター
〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目1番地
北海道社会福祉総合センター

(かでの 2・7) 3階

TEL : 011-252-3411 / FAX : 011-252-3412

URL : <http://www.hokkaido-sien-center.jp/>

E-mail : Hokkaidocenter@dosityakyo.or.jp



さくらんぼ狩りバスツアー

7月23日、大型バス3台(参加者108名)で、有珠郡壮瞥町のくだもの農家「浜田園」に行ってきました。

20種類以上のさくらんぼの木が植えられている広い農園で、

高級品の「佐藤錦」や「南陽」も試食

できて、大変喜んでいました。

昼食は園内でお弁当を広げて一緒に食べました。その後、有珠山と昭和新山を散策し、ロープウェイで展望台に登り、きれいな洞爺湖の景色を楽しみました。



さっぽろ秧歌まつり

9月2日、第12回さっぽろ秧歌まつりが大通公園8丁目広場で開催されました。

今年は、炎天下にも関わらず、約200名が参加し、中国帰国者の歌や踊り、楽器演奏、太極剣、ボランティアさんの中国語による合唱や参加者全員で日本の盆踊りなどを楽しみ、最後に中国伝統大秧歌踊りでまつりの幕を下ろしました。

日本の家庭料理教室

—夏野菜たっぷり— 出汁の応用編—

8月20日、北ガスッキングスクールにて第2回家庭料理教室を開催しました。

今回は、夏野菜をふんだんに使った「五色そうめん」「オクラのすり流し」「焼き茄子の寄せもの」「はりはり漬け」の4品を学びました。



先生から教わった方法で取った出汁を使った夏らしい料理を皆で美味しく頂きました。「出汁の取り方は難しいけど、上手になりたい」と言っていた方もいました。



パソコン学習コース



ワードの図形描写で作った「七夕」
作者 芦澤幸恵（1世クラス）

当センターでは、受講生の学習目的や学習レベルに合わせて、「1世の楽しいパソコン」「パソコン入門」「パソコン基礎」「パソコン応用」に分け、また、「パソコン応用」コースを卒業した受講生のために、月2回の「補習講座」を開いています。講師は「NPO法人札幌チャレンジド」のベテランのパソコン講師に来ていただき、各コースの学習カリキュラムに基づいて授業を行っています。

「1世の楽しいパソコン」コースでは、オリジナルテキストを使って、文書作成やカレンダー、名刺、はがき、うちわなど、面白い作品を楽しく作っています。受講生からは、「ひとつの作品が完成すると嬉しくて、ますます新しいものを作りたくなります」との声もありました。

これからどんな作品ができあがるのか、楽しみです！！

日本語教室伝言板

後期の授業は10月9日（火）から始まりました。

受講を希望される方は、いつでもご相談ください。

なお、できるだけ休まずに受講できる方が対象です。



担当：松本

10月～12月の予定

10月9日（火）	日本語&パソコン教室 後期開講日
10月13日（土）	厚生労働省主催「中国・樺太残留邦人への理解を深めるシンポジウム」
10月19日（金）	第7回健康運動教室
11月11日（日）	からふと帰国者交流パーティ
11月20日（火）	第8回健康運動教室
11月予定	一世限定バスツアー
12月3日（月）	第3回日本家庭料理教室
12月18日（火）	第9回健康運動教室
12月25日（火） ～1月10日（木）	日本語&パソコン教室 冬休み

編集後記

北海道では気象統計史上一番厳しい残暑に見舞われ、寝苦しい日々がしばらく続きましたが、皆さんはいかがお過ごしでしたか？

これからは急に気温が下がる可能性もありますので、しっかり体調管理し、秋を探しに出かけましょう！！



へんしゅう ほうこう ほっかいどうちゅうごく きこくしゃ しえん こうりゅうせんたー
編集・発行：北海道中国帰国者支援・交流センター
〒060-0002

さっぽろ しちゅうおう くきた じょうにし ちょうめ ぼんち
札幌市中央区北2条西7丁目1番地
ほっかいどうしゃかいふくし そうごうせんたー
北海道社会福祉総合センター

(かでの 2・7) 3階

TEL : 011-252-3411 / FAX : 011-252-3412

URL : <http://www.hokkaido-sien-center.jp/>

E-mail : Hokkaidocenter@dosityakyo.or.jp



中国・樺太残留邦人への理解を深めるシンポジウム

—わかりあい手をつないで、ともに解決を！—

ひろく とうみん、しみんの 皆さんに 帰国者への 理解を 深める
ため、厚生労働省主催による『中国・樺太残留邦人への
理解を深めるシンポジウム』が、10月13日、
かでのホールで開催されました。

シンポジウムには、400名を超える多くの市民や
帰国者が参加しました。シンポジウムに先立ち帰国者
をテーマにした演劇「吉林食堂」が上演され、見る人の
共感を誘いました。



シンポジウムでは、中国帰国者とともに樺太帰国者問題も取り上げられました。帰国者問題に
関わってきたジャーナリストの大谷昭宏氏を司会に、日本サハリン同胞交流協会小川峯一会長、樺太
帰国者一世植松キクエさん、中国帰国者一世國井榮治さん、二世伊藤春美さん、三世佐藤千恵子さん
がパネリストとして悲惨な離別体験や帰国後の苦労を語りました。

パネリストの皆さんから「文化の違いをわかりあって！」「国は帰国者の受け容れに力を入れて！」
「言葉や文化の壁を越えるために帰国者と支援者と力を合わせて解決を！」と訴えました。小川会長
は「帰国者が日本に帰国して良かったと思えるような支援を！」と熱い気持ちを訴え、会場に大きな
拍手が広がりました。大谷さんから「わかりあえるのを示してくれたのが帰国者」と、そのうえで「ど
うやって手をつなぐか、今日の会が少しでも役に立てば良い」と結びました。

最後に、センターの帰国者合唱クラスが「故郷」など会場の皆さんと大きな歌の輪を作りました。
シンポジウム開催にあたり、本センターも準備から開催運営まで協力しました。

2012年 樺太等帰国者交流パーティ

11月11日、樺太帰国者の皆さんの親睦を目的とした
交流パーティをサハリン同胞交流協会の協力により開催
しました。

今年は、支援者を含めて77名が参加しました。旭川市
からは4名の帰国者が参加しました。皆さんは久しぶりの
再会に喜び、カラオケやダンス、ゲームなどを楽しみなが
ら、交流を深めました。



さっぽろしすいどうきねんかんしゃかいげんがく
札幌市水道記念館の社会見学

11月6日～9日、日本語基礎コースの受講生131名を対象とした社会見学を行いました。

水道記念室や浄水場などの見学や参加体験を通じ、水道のしくみや自然環境と人間の関わりなどを楽しく学び、改めて水や自然の大切さを感じました。



にほんかていりょうりきょうしつ
日本の家庭料理教室

ふゆのおもてなしりょうりへん
—冬のおもてなし料理編—

12月5日、第3回料理教室を北ガスッキングスクールで開催しました。

今回のテーマは冬のおもてなし料理で、28名の方が参加しました。



「炊き込みおこわ」、「鶏肉の八幡巻き」、「ユリ根の梅肉和え」、「お椀たまじめ」の4品を学びました。

ユリ根を初めて調理する方が多く、皆さんは興味津津でした。出来た料理をみんなで美味しく頂き、「家族にも作ってあげたい」と嬉しそうに言っていました。

きこくしゃいっせいたいしやう そうんきやうおんせんこうりゆう
帰国者一世対象の層雲峡温泉交流バスツアー

11月18日～19日、帰国者一世54名で、層雲峡温泉に行ってきました。

初めて層雲峡温泉に行く方も多く、とても楽しみにしていました。ホテルに到着してすぐ温泉に入ったり、ホテル周辺を散策していました。夕食後の交流会では、ビンゴゲームやカラオケを楽しみました。

翌日に、層雲峡の観光名所「銀河の滝」「流星の滝」を見学しました。二日間を通して、久しぶりに会う人と楽しく話して、笑って、「大人の修学旅行」を満喫しました。



よてい
1月～3月の予定

1月11日(金)	日本語&パソコン教室 開講
1月13日(日)	第5回 DVD上映会 (中国映画)
1月22日(火)	第10回 健康運動教室
2月22日(金)	第11回 健康運動教室
2月24日(日)	第3回 中国帰国者新年交流会
3月 9日(土)	学習発表会
3月15日(金)	第12回 健康運動教室
3月18日～	日本語&パソコン教室 春休み

にほんごきょうしつでんごんぱん
日本語教室伝言板

★2月24日(日)「第3回中国帰国者新年交流会」を開催するため、日本語とパソコン教室は**お休み**です。

★「学習発表会」の日程が3月9日(土)に決まりました。各クラスの皆さん、今から準備をお願いします。



へんしゅうこうき
編集後記

新年明けましておめでとうございます！「時間が経つのが早いね」とよく口ずさむ1年でした！（笑）

職員の退任・新任

3月31日付で菊地企画主任が退任し、後任に北海道社会福祉協議会棟方一夫課長が就任しました。新たに篠原恵理子生活相談員（ロシア語）が加わりました。



企画主任 菊地 朋



課長 棟方一夫



相談員・通訳 篠原恵理子

お世話になりました！
またお会いしましょう！！

До свидания!

はじめまして！
皆さんと明るく、楽しい
教室にしましょう！

皆さんのお役に立てるよう
努力しますので、よろしく
お願いします。

平成25年度職員体制

所長（統括責任者）
企画担当者
教務担当者
事務担当者
生活相談員（医療通訳兼務）[中国]
生活相談員（医療通訳兼務）[ロシア]
就労相談員
地域支援コーディネーター （企画担当者兼務）

日本語教室伝言板

今年度は、週5回の「就労コース」と「進学コース」を新規開設しました。希望される方は、センターまでご連絡下さい。

遠隔学習を受講の皆様へ

日々の日本語学習の中で、困っていることがあれば、いつでもご相談ください。希望に応じて、対面式指導（スクーリング）もあります。

担当：松本



4月～6月の予定

4月10日（水）	日本語&パソコン教室4月期開講
4月19日（金）	第1回健康運動教室
5月1日（水）～ 5月6日（月）	日本語&パソコン教室 休み
5月予定	DVD上映会<中国映画>（予定）
5月21日（火）	第2回健康運動教室
6月 7日（金）	第3回健康運動教室
6月10日（月）	第1回日本料理教室

編集後記

新年度が始まりました！
今年も多くの帰国者の皆さんに楽しく利用していただけるとの事業を行いますので、是非お誘い合わせの上ご参加ください。



しらかば

へんしゅう はっこう ほっかいどうちゅうごく きこくしゃ しえん こうりゅうせんたー
編集・発行：北海道中国帰国者支援・交流センター
〒060-0002
さっぽろ しちゅうおうくきた じょうにし ちようめ ばんち
札幌市中央区北2条西7丁目1番地
ほっかいどうしゃかいふくし そうごうせんたー
北海道社会福祉総合センター

(かでる 2・7) 3階

TEL: 011-252-3411 / FAX: 011-252-3412

URL: <http://www.hokkaido-sien-center.jp/>

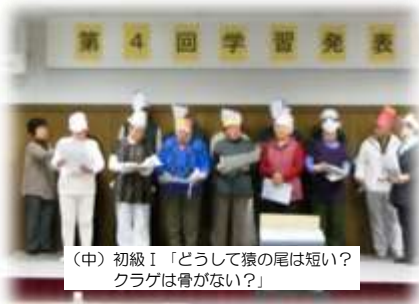
E-mail: Hokkaidocenter@dosyakyu.or.jp

へいせい ねん ど じぎょうけい かく 平成25年度事業計画

<p>にほんごがくしゅうしえん 日本語学習支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> にほんごきょうしつ きょうしつ 日本語教室・パソコン教室 えんかくがくしゅうかてい じっし 遠隔学習課程のスクーリングの実施
<p>せい かつ そう だん 生活相談</p>	<ul style="list-style-type: none"> せいかつ しゅうろう かん そうだん 生活や就労に関する相談 つうやく いりょうつうやく ぶん 通訳（医療通訳を含む） かていほうちん じっし 家庭訪問の実施 そうだんじょげん たいせいきょうか 相談助言の体制強化
<p>ち いき し えん 地域支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> にほんごきょうしつうんえい しえん 日本語教室運営の支援 けんしゅうかい かいさい ボランティア研修会の開催
<p>こう りゅう 交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> りょうり きょうしつ けんこううんどうきょうしつ 料理教室、健康運動教室、バスツアー きこくしゃこうりゅうかい かいさい 帰国者交流会の開催 こうりゅう うんえい 交流サロンの運営
<p>ふ きゅう けい はつ 普及啓発</p>	<ul style="list-style-type: none"> かしだし パネルの貸出
<p>じょう ほう てい きょう 情報提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> うんえい ホームページの運営 きかんし はっこう 季刊紙「しらかば」の発行
<p>ちいきせいかつしえんすいしん 地域生活支援推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> かいごろうじん ほけん ふくし しせつ けんがく 介護老人保健・福祉施設の見学 きこくしゅ きよてん 帰国者の「拠点づくり」
<p>じりつけんしゅうじぎょう 自立研修事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> にほんごがくしゅうしえん 日本語学習支援 せいかつがくしゅうしえん 生活学習支援 しょくば たいけん 職場体験
<p>しゅう しょく えん じょ 就職援助</p>	<p>しょくぎょうそうだん しゅうしょく しえん 職業相談・就職支援</p>

第4回 学習発表会

3月9日、北海道社会福祉総合センターの大会議室で開催しました。



2013年 中国帰国者新年交流会

2月24日、センター主催の「第3回新年交流会」を開催しました。中国帰国者や支援者、ボランティアなど約130名が参加しました。

今年は乙部町や千歳市、小樽市、当別町在住の帰国者も参加しました。皆さんは久しぶりの再会に喜び、帰国した当時の懐かしい事や近況報告などを話しながら、帰国者による歌や踊り、太極扇、太極剣、楽器演奏、マジック、中国伝統芸能「三句半」、「変臉」やボランティアの方による日本舞踊を楽しみました。最後に全員で恒例の大秧歌で盛大に春節を祝いました。



ちいきせいかつしえんすいしんじぎょう
地域生活支援推進事業
かいごほけんせいでりかい
介護保険制度理解するための

施設見学

3月27日、帰国者一世9名を対象とした施設見学を行いました。

今回は、社会福祉法人「栄和会」のケアハウス、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設を見学しました。

参加者からは「部屋は清潔だし、サービス内容も豊富だし、職員も親切で、安心しました」との感想がありました。



中国帰国者生活文化作品展 入選作品介绍

中国残留孤児援護基金と東京中国文化センターが共同主催の「中国帰国者生活文化作品展」で、札幌市在住の帰国者芦澤幸恵さんの「芍薬」が水墨画部門銀賞、伊藤美代子さんの「戯牡丹」が絵画部門銅賞に入選されました！

今回の「作品展」では、計4部門の40名の方の作品が入選されました。おめでとうございました！！



「芍薬」
芦澤幸恵 作



「戯牡丹」
伊藤美代子 作